

## 株式会社V and P

Shopify で構築されたオンラインショップのデータを CData Sync を利用して Azure 上の SQL Database に取り込むことで Shopify の標準レポート機能で得られない切り口でのデータ出力や分析を実現。

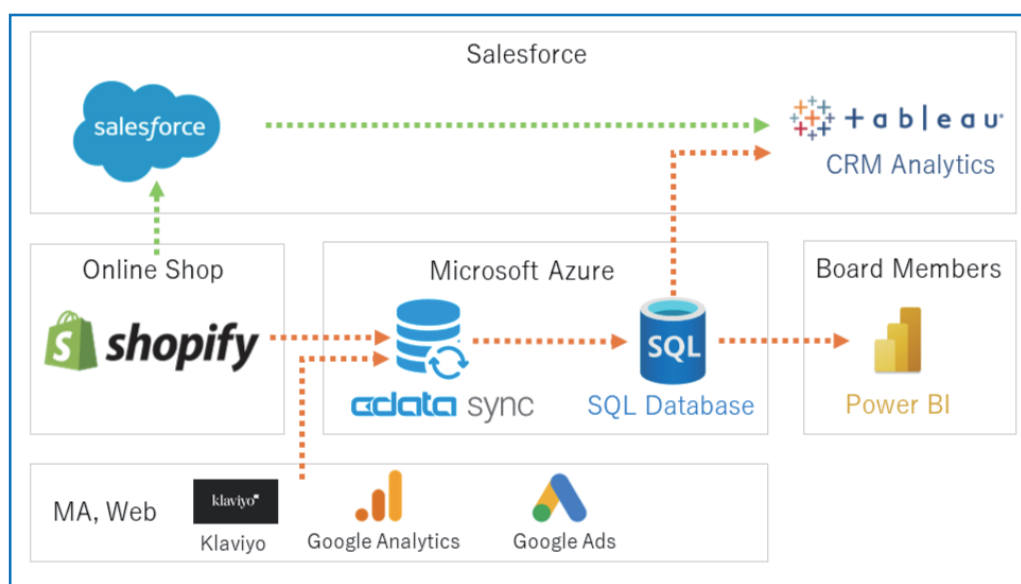
株式会社 V and P は、犬猫用、および、ヒト用サプリメントの販売および、輸出入の事業を展開されています。同社では、業務のコアとなるシステムとして Salesforce を導入しており、データ分析には CRM Analytics を使用しています。一方で、オンラインショップのシステム基盤には Shopify を採用しており、Salesforce と Shopify 間の連携はリアルタイムで行われています。しかしながら、連携ソリューションの制限により Shopify から取得できるデータは顧客・受注・製品のみと一部に限られるという課題がありました。同社では、様々な切り口でのデータ出力や分析を実現するために、CData Sync を利用して Shopify API から取り出せるディスカウント情報など多くのデータを取得し Shopify → CData Sync → SQL Database → CRM Analytics とデータを連携させてデータ出力や分析に活用しています。

### Challenges

- ・ Shopify データの活用
- ・ グローバル利用の Power BI での分析
- ・ 社内に存在しているがアクセスが分断されているデータを活用したい

### Solutions

- ・ CData Sync を利用して Shopify データを取得
- ・ Azure SQL DB に蓄積することで CRM Analytics と Power BI 両方から活用
- ・ MA の Klaviyo、GA / 広告データを一元管理



本件導入を進められた吉川広樹氏にお話をお伺いしました。

Q: どのような経緯で本プロジェクトが始まったのでしょうか？

吉川氏：ビジネスの要件をカバーするために企業内では様々なシステムが存在し、それぞれのシステムにデータが溜まりデータの分断が発生するというのは各社課題となることが多いと思いますが、当社も正にその状態でした。Shopify・Klaviyo・Microsoft Access・Google Sheets・Excelなどにデータが分断されており、データは会社内に存在していてもデータ分析など活用には結びつかない状態でした。

そのため、情報の一元管理化を進め、顧客、売り上げ、製品などの情報をすべて Salesforce に集約する方針を決め、今後も別なシステムとの連携が必要になった際の拡張性を考慮した際に、接続先オプションの幅広さや費用面のメリットからも CData Sync をデータ連携ソリューションとして選択させていただきました。

**Q: Shopify データを活用する際のボトルネックや課題は？**

吉川氏：CData のようなソリューションがない場合、手作業が含まれるような状態でデータを SQL Server まで連携させるか、独自のソリューションを構築して Shopify API からデータを抽出する形を検討しなければならないと考えていました。

実は以前所属していた企業で Shopify API からデータ抽出をするソリューションを構築したこともありましたが、構築までの時間も当然長く必要でしたし、安定性確保のためのデザインも複雑で、今回のプロジェクトのタイムフレームでは難しいと感じていました。

**Q: 実際に CData Sync を使われたご感想は？導入していて、社内や上司の反応はhowでしたか？**

吉川氏：使った感想としては、まず、設定が非常に簡単でした。またデータのレプリケーションが受け側のサーバー上のデッドロックなどでエラーになった際も、次回ジョブが走った際に再同期されますので、非常に安定して運用できています。新規データだけではなく更新があった場合も適切にデータ連携がされているのが非常に助かっています。

社内の反応としては、Shopify の標準レポート機能で得られない切り口でのデータ出力が可能になり喜ばれています。

また、先述のように Shopify → Salesforce の受注等の連携は別ソリューションで行っていますが、こちらの連携に抜け漏れがないかの確認のために CData Sync によって連携されたデータとの比較を行うモニタリングの仕組みも構築することができ、顧客に対して安定的なサービスを提供するための活用もできています。

**Q: ご利用されている現在のご状況や今後の展開をご共有いただけますでしょうか？**

吉川氏：今後の課題としては、Shopify 上で活用している定期購入機能のアプリ上に保存されているデータを定期購入アプリの API 経由で取得して SQL Database まで連携できればと思っております。更にはマーケティングオートメーションの Klaviyo や Web サイトのアクセス解析や広告の情報の連携も考えています。



	<p>株式会社 V and P 本社：東京都港区 設立：2013 年 3 月</p>
	<p>同社ウェブサイトより</p>

CData は、米 CData Software, Inc. の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。